

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

学生チーム 活動報告・お知らせ

秋季シーズンについて

学生チームは昨年に続き一部リーグで迎えた今シーズンでしたが、惜しくも一部残留ならず…。

選手も応援の皆さんも非常に悔しい想いをされたかと思いますが、本当にお疲れ様でした。

来シーズンは二部からのリスタートですが、今回経験した悔しさをバネに、新たなメンバーをたくさん迎えて、またすぐに一部復帰を果たしてくれると信じています！

今シーズンで現役チームを卒業する 4 年生首脳陣からコメントをいただきました。

●戦 績（関東学生クラブ選手権）

2014/09/21	vs 明治 MRC	52- 42	○
2014/09/28	vs 早大 GW	7- 66	●
2014/10/05	vs 拓大オリバーズ	7- 38	●
2014/10/19	vs 中大ブルーウィンズ	49- 24	○
2014/10/26	vs 慶應 BYB	19- 68	●
2014/11/02	vs くるみクラブ	36- 27	○
2014/12/14	vs 法政工学部	12- 34	●



●首脳陣からのコメント

山本 ニコラス（主将）

JSKS での 4 年間はとても楽しかったです。本当に仲間に恵まれてよかったと感じています。

特に主将になってからは仲間の大切さに気づくことが出来たと思います。

チーム作りで迷った時にサポートしてくれる副将や後輩、マネージャーの方々がいました。本当に皆のおかげで主将を 1 年間続けることが出来たと思っています。後輩にはとにかく後悔の無いように大学生活を過ごして欲しいと思います。

最後になりますが、四年間お世話になった OB の方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

山崎 勇典（副将）

2015 年度副将の山崎です。今年度は、リクルートにおいて、大変貴重な戦力となる 1 年生を確保することに成功しました。しかし 14 年卒のメンバーが抜けた穴は大きく、全体的な人数不足に悩まされた 1 年でした。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

そのため、一人が同じポジションを 1 年間やり通す形になっていました。

しかし、シーズンが深まり怪我人が増え、今までやったことのないポジションについて選手が光る、ということが何度かありました。自由なラグビーができるということは JS の良い所です。是非来年度は人数を確保し、積極的に新しいことにチャレンジしてもらいたいと思います。

応援していただいた OB の皆様、関係者の皆様、有難うございました。

山口 健（主務）

今年のチームは良いチームでした。一見癖のあるメンバーばかりでしたが、皆、向いている方向は揃っていました。個人的にチームのまとまりは、自分の 4 年間で 1 番だったと確信しています。ただ、そのまとまりが良いこともあれば悪く働くこともあります。少しチームが落ち込むと、どんどんその方向へと引っ張られていきます。そこで方向を修正できなかったのが、今年の反省すべき点です。

来年は、このチームのまとまりを保ちつつ、最善の方向を見つけて行ける最高のチームになれるはずです。今年の悔しさを忘れず、頑張ってください。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

新首脳陣紹介

2015 年度の学生チームをまとめていく新首脳陣が主将：鎌田さん、副将：小池さん、畠山さん、主務：大場さんに決まりました。

新たな 1 年、ぜひ一部リーグ復帰を目指して、チーム一丸となって取り組んでほしいですね！
今回は以下の 3 名から、意気込みを語ってもらいました。

鎌田 大平（主将）

2015 年度慶應 JSKS ラグビークラブ主将を務めます、鎌田大平です。

今年の目標は二つあります。二部全勝優勝し一部昇格すること、規律を守ること、です。当たり前ですができるように、チーム全員で意識改革を行っていく所存です。応援よろしくお願い致します。



小池 治樹（副将）

2015 年度慶應 JSKS ラグビークラブ副将を務める小池治樹です。

今年は「強さ」だけでなく「誇り」が持てるチームへと変えていく年にします。それは、JS が再び 1 部へ戻るだけでなく、関係するすべての人に信頼してもらえるようなチーム作りを意味します。今までの JS での 3 年間で OB の皆様をはじめ、多くの方々にサポートして頂きました。最後の 1 年でこのチームに恩返しが出来ればと思っています。そのためにも鎌田主将を全力で支え、多くの苦難をチーム一丸となって越えていきます。今年一年どうぞよろしくお願い致します。



大場 健司（主務）

2015 年度慶應 JSKS ラグビークラブ主務を務めます大場健司です。

今年は我々にとって、いつもに増して重要な年であると認識しております。二部に降格してしまった今、組織として生まれ変わり「新生」JSKS クラブとなるべく、各メンバーが変わっていく必要があります。そこで、今年是一年を通して「revive」をテーマに活動していく所存です。この言葉には、チームとして、また個人として生まれ変わるという意味、そしてプレー中には、リロードを早くする等の意味が込められており、常にこのキーワードをよりどころとして、強く模範的な JSKS を作っていきます。

このように、今年は新生 JS 元年と捉え、二部全勝優勝、そして一部昇格を必ず達成します。今後とも変わらずのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



OB チーム 活動報告・お知らせ

昨年から神奈川県社会人クラブリーグ一部に所属する OB チーム。今回の秋季大会は、春季大会の一部、二部所属チームを 2 グループに分けて、リーグ戦が開催されました。

毎回メンバーを揃えるのに苦労しつつも、何とか前半は勝ち星が続きましたが、規定人数が揃わず不戦敗を喫するという、とても残念な試合もありました。

春期大会は、また強豪薙めく一部リーグでの熱い戦いが続きます。リザーブも含めてメンバーがしっかり揃って、万全の態勢で試合に臨みたいですね。

そろそろ体を動かしたくなった若手 OB の皆さん、体力には自信がある中堅 OB の皆さん、ピンポイント参加でもいいからラグビーボールと戯れたいというシニア OB の皆さん、ぜひ OB チームに参加して、ラグビーの楽しさを再認識しませんか？

●戦 績（神奈川県クラブ秋季大会チャレンジ I リーグ）

2014/09/21	vs あじさい	32- 27	○
2014/10/12	vs レッドトレロス	不戦勝	○
2014/10/26	vs 藤沢ウェスト	33- 19	○
2014/11/02	vs クイール	不戦敗	●
2014/11/23	vs 六郷クラブ	7- 44	●



初戦のあじさいクラブ戦を終えて

山崎 承一 理事長挨拶

まずは今シーズン、JSKS クラブの“今”を駆け抜けた学生諸君、君たちの健闘をねぎらいたいと思います。結果は一部残留をかけた入れ替え戦に敗れ、来年は二部の舞台で戦います。新メンバーはこの悔しい思いを胸に、来年の雪辱を期して下さい。このようにして JSKS の 85 年の歴史は積み重ねられていくのです。

この 1 年、ここに至る道のりは長くもあり、振り返ってみればあっという間の出来事であったと感じているかもしれません。君たちはこの体験をこれからの自分の貴重な財産としてください。皆さんと共に JSKS クラブのこの 1 年を振り返ってみたいと思います。

山本主将のもと、1 年の目標を設定し、それに向けたチームづくりをスタートしたのは春まだ浅き 3 月のことでした。

新入部員獲得のリクルート活動も君たち自らが主体となり取り組みました。これまでの流れはそう簡単には変えられませんが、着実に新しい第一歩を踏み出しました。

ただ獲得できた新入部員の絶対数は少なく、その後のシーズンをとおして少ない部員数に苦しむこととなりました。夏合宿、秋の公式戦と厳しいゲームが続き怪我人が続出し、チーム編成にも苦勞する試合の連続でしたが、4 年生から 1 年生まで全員のまとまりで何とか凌ぎきってシーズンを終えました。ゲームに出場した選手は勿論のこと、怪我人、控え選手、マネージャーそれぞれがチームの勝利に向かっての役割を果たそうと頑張っている姿を見て頼もしく思いました。ただ、チームとしての規律、行動にはまだまだ改めるべき点が見受けられました。全ての基本は強い心の涵養です。強い心を培えばチームは更に成長すると信じます。

今年度のゲームで一番印象に残った試合は 11 月 2 日の「くるみ」との戦いでした。試合は後半 20 分まで、くるみペースで着々と点差を広げられ 15-27 と苦しい展開となりましたが、最後の 20 分、JSKS は FW が一つにまとまりスクラムを押し、モールを切り裂いて前進した選手にフォロワーが続くというリズムを取り戻し、BK も堅いディフェンスで守りきり 3 ゴールを連取し 36-27 で勝利を勝ち取りました。

この試合は 2 部陥落のおそれがかかった試合で、卒業したばかりの若手 OB も応援に駆けつけてくれて、まさに学生・OB が一つになって勝ち取った勝利を実感しました。

このように学生達が勝利を目指し、OB 達がこれを一緒に応援するという場に居合わせたのは今年度の素晴らしい思い出です。最後の入れ替え戦で敗れこそしましたが、この勝利体験は今後に活かして欲しいものです。

一方、JSKS クラブのもう一つの活動の柱であるクラブ活動の活性化については、従来から行ってきた JS 祭や、昨年度からの新たな試みである講演会などを企画実施しましたが、まだ期待するような大きな広がりやの輪にはなっていません。

上は大先輩諸兄から、卒業したばかりのフレッシュマンさらには学生にいたるまで、それぞれ横にはしっかり繋がっている輪を少しずつでも縦にもつなげてチェーン化出来れば、JS メンバーが一つになり、さらには家族の皆さまを通じて JSKS クラブライフが広がることが期待で



山崎承一理事長

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

きます。その鍵となる学年幹事会の機能を取り戻すこと、また全会員との連絡・コミュニケーションが取れる仕組みを作ることも課題です。これらの課題を解決するために、じっくりと取り組んでいきたいと考えています。

学生と OB が クラブメンバーとして“共感”を持つためには、二つのアプローチがあると思います。その一つは、「JSKS クラブの認識」を共有することです。JS のアイデンティティである JS 精神・文化をいかに学生達に語り繋げていくのかということです。

JS の設立間もない時期のクラブ部誌や戦後の復興期に再刊された部誌など多くの貴重な資料があります。口伝の伝承もよし、また資料をひも解くのもよし、これら有形・無形の JS 精神、文化を伝える方法を考えています。

もう一つは、今の学生達の置かれている生活環境、就学環境を知り、OB として学生に適切なサポートを行うことです。そのためにもグラウンドに足を運びグラウンドで学生達を見知っていただきたいと思います。

また学生達が行う OB 回りをはじめ学生と OB の接点を増やしていきたいと考えます。OB の皆様の協力をお願いいたします。

最後にもう一度言います。JSKS クラブは単にラグビーが強いクラブチームというだけでなく、人間として立派な人材を輩出し社会に貢献しているという誇りを持てるクラブでありたい、と思います。言うまでもなくその原動力は強いチームであることが核です。

ではなぜ故に強いチームを目指すのか。

強くなければ勝利の感激は味わえない、勝つことによって更に上を目指す勇気が湧いてくる、強いチームこそチームの団結は強固なものになる、その努力の中で友を得、人間形成ができる、だから強いチームを目指して欲しいのです。そして強くなるための工夫、努力をしてほしい。

自分に対する誇り、決めた目標に対する責任感、クラブに対する共感をキーワードに強い JSKS を作ろうではありませんか。

君たちは今年の「くるみ」との試合の勝利で、今までとは次元の異なる高揚感を感じたはずです。この高揚を持続発展させれば、更に広い世界が開けるはずです。ゲームを通して、その兆しを感じたはずです。その体験の積み重ねが貴重な財産になります。この高揚感は勝てるチーム、強いチームにならなければ体感できないことです。

JSKS クラブはラグビーを愛する学生達に、ラグビーを通して多くのことを感じ取り、学んで欲しい、そのための器になりたいと考えます。

一人でも多くの学生が JSKS で学び、ラグビーをエンジョイし立派な人間として社会に巣立って行くことを強く念じています。来年度は新たな 4 年生を中心にシーズン目標を定め、それを達成するための手段方法を学生が主体的に決め、OB もそれをサポートする体制を整えていきたいと考えています。

今年度、皆様から色々な形でいただいたサポートに感謝するとともに、来年度に向けて更なるご理解とご協力をお願いして、今シーズンの総括とします。ありがとうございました。



以 上

学年幹事会及び OB 講演会開催しました

2014 年 9 月 6 日（土）に慶應義塾大学三田キャンパスで行われました今年度の学年幹事会及び OB 講演会、そして学生との懇親会の様子を、イベント担当理事の富野さんからご報告いただきました。

富野 春城 さん（1984 年卒）

2014 年 9 月 6 日に予ねてからご案内しておりました学年幹事会を開催させていただきました。学生と OB 合わせて 43 名ご出席いただきました。皆さん、ありがとうございました。

当日の内容も含めまして、下記のとおりご報告をいたします。

<第一部> 理事長及びチーム監督からの報告

- ・アジェンダに従い、山崎理事長、井之上 OB チーム主将、佐藤現役チーム監督の順にてお話をいただきました。



- ・学年幹事会からの要望として下記のご意見が出ました。
 - ① 東西対抗などの試合を観たが、25 分×2 の試合にもかかわらず、後半スタミナ切れの状況が見られた。
 - 状況認識しており、スタミナを上げるトレーニングにも多く取り組んでいく。合宿参加者の減少については、今年から盛んに行われている企業のインターン活動に裂かれているケースも多いと認識している。（2005 年卒佐藤監督）
 - 厳しい環境の中、理事会としても部員全体の増加の取り組みを継続的に検討していく。
 - ② MRC などは固定した活動グラウンドを持っているのが強みである。JSKS もこの問題に積極的に取り組んでもらいたい。
 - グラウンド問題については、永遠のテーマとして考えている。AKRC への依頼なども含めて今後も検討を進めていきたいと思う。（1967 年卒伊東）
 - ③ 現役諸君に JSKS の歴史などをほとんど知らない者が多く、改善する必要があると思う。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

→OB 訪問など、OB と現役との接点を増やして継承をしていきたい。学年幹事のメンバーにも協力をお願いしたい。(山崎理事長)

＜第二部＞寺田 勝 獣医師（1990 年卒）による OB 講演会

- ・JSKS～富士銀行時代～獣医を目指す苦学生時代～合格・開業という激動の人生をリアリティ満ち溢れた内容でご紹介いただきとても素晴らしい講演でした。
- ・講演後は、銀行員から獣医師を目指す時の気持ちや、苦労などに多くの質問が集中し、和やかな内容となりました。



＜第三部＞懇親会

- ・病床の池松元理事長のご手配により、大学近所の「駒八 札の辻店」にて懇親会を行いました。懇親会から駆けつけていただきました 1957 年卒神谷先輩の乾杯の音頭にて、2 時間たっぷり現役・OB 交じり合っの交流をいたしました。

当日現役部員の参加が予定よりかなり少なくなりました。就職活動含めいろいろと困難があったものと思い、OB 諸兄におかれましてはご容赦いただき、暖かく秋のシーズンを応援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

拙い進行でありましたが、皆様にはご協力いただきありがとうございました。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

支部だより

今回は関西支部での活動状況をご報告いたします。



関西支部より

関西支部は相変わらず盛り上がっていますね！

関西懇親会に、学生の関西遠征、そして関西ファミリーパーティーの様子について、辰巳忠一郎さんからご寄稿いただきましたのでご紹介します。

関西支部：辰巳 忠一郎さん（1968 年卒）

「第 6 回関西懇親会」

第 6 回関西懇親会が 6 月 19 日から恒例の 2 泊 3 日コースで開催され、全ツアーからオプションツアー参加の方まで総勢 23 名が集合されました。

初日は大阪駅前第三ビル 33 階、日本料理「河久」で美しい夜景を眺めながら 19 名での夕食会。田中俊夫先輩から「全員集合されましたのでさあ宴会を始めましょう」と発せられたと思いきや「アレー 1 人足りない。誰だ誰だ。あっ二島さんが居ない。何処だ何処だ」と大騒ぎ。その時、田中先輩の携帯ベルが鳴った。「二島です。手洗いに行ってる間に皆さんが居なくなり、ひとりホテルにとり残されています。」との不安げな声。

出席者の多くが前期高齢・・・でありハプニングがつきものの会ですが、今回はいきなり前理事長の置いてきぼり騒動が発生しました。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

15 分後、何もなかったかのように二島さんが席に着かれ、宴が始まり、皆さんが順次近況報告されましたがお変わりない益々お元気な様子が確認出来ました。今回も新メンバーが登場、上海帰りの田中秀樹さん（1987 年卒）です。この会の参加者としては歴代最若手ですが、自己紹介では ANA の大先輩である故道広功先輩（1966 年卒で本会に同期 5 名出席）との貴重な思い出話をされる等、皆との年代の差を全く感じさせない雰囲気があり、素敵な JS 仲間が増えました。この 4 月に東京へ転勤になったばかりの進藤一英さんも駆けつけてくれ、「声がかかればいつでも関西に来る」と嬉しい言葉が聞けました。

話も尽きぬ中、一旦中締めで「若き血」を熱唱し、宴に花を添えてくれた「クラブ薔薇」のママはじめ美女 3 人の案内で北新地に場所を移しました。

年の差???のお嬢さんたちを傍に鼻の下を伸ばす面々、30 数曲の歌と話に花が咲き、あっという間にもうすぐ午前様。田中幹事長の「名残は尽きませんが・・・」の声で VIP ルームに全員集合、女性も輪になり「塾歌」、本日 2 回目の「若き血」を絶叫し、そして三浦先輩からのエール交換で無事 1 日目を終えました。



20 日は「JSKS シニアオープンゴルフコンペ」於、「芦屋カンツリー倶楽部」。

梅雨空とは思えない晴天の下、15 名が参加。競技委員長からのスタート前には「スコアはさておき楽しく怪我のないよう、谷間に落ちた球は・・・」と恒例の安全第一の競技ルール説明がありました。シニアにとっては結構体力の要る 2 泊 3 日のトライアスロンツアーのようなもので、この日は中間地点、最も厳しいゴルフ競技です。

終えてみれば実力、体力ともに頭抜けた鶴さんが優勝でした。本文投稿者の辰巳もこの会に相性が良いのか、前回は優勝、今回も 2 位入賞で、春には西日本オープンを優勝（2 位：鶴）しています。この上位独占中の天王寺高出身の 2 人を倒すのは地元の灘高か甲南高かそれとも小山台、麻布、西、慶應日吉、志木高等の関東勢かはたまた築上、長崎北高等の九州勢か四国勢か次回大会が見物となっております。我こそと思われる方は是非 2015 年の JSKS シニアオープンにチャレンジしてみませんか。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行



20 日夕方、有馬温泉「古泉閣」（芦屋 CC から 20 分で移動）ここからは新理事長の山崎承一さんも加わり 18 名参加。

関西支部にとっては初めての新旧両理事長の出席行事となり、それぞれ JSKS への格調の高い思いと抱負を述べられ、記念すべき日となりました。今宵も有馬の美女 2 人に注がれるままの旨い酒に酔いしれ、ツアーのクライマックスを堪能しました。二次会のカラオケで第五回目の「若き血」、エール交換が行われ、無事 2 日目も締めくくられました。



その後、三々五々有馬の元湯に浸かり疲れを癒しましたが、まだ話したりぬ面々が大勢で松本利幸先輩のロッジに集まり、深夜まで熱い JS 話が繰り広げられました。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

21 日朝食後、宿の玄関で来年の再開を誓い、解散しました。



今回は第 4 回、5 回と回を重ねるごとに増えていたアルツ関連のハプニングがすっかり影を潜め、皆さんのご健勝振りが窺われました。

特筆すべきは梶原正壽さんがひどい腰痛で欠席の予定でしたが、最終出席メンバーを知らされた途端、欠場してはおられないと、急遽初日からの全ツアーに参加するとの申し出が舞い込みました。初日は腰痛など感じさせないいつもの激辛トークで皆を沸かせ、2 日目のゴルフは足腰を庇いながらマウスオンリーで勝負する姿はさすがに健気に見えました。然し有馬の夜になるとまたまた本性復活、濃艶トークを交え、なかなかの役者ぶりを発揮されました。長崎から参加の西野顕久さんとの息の合った仲間ならではの滑稽な掛け合い、貶しあいも絶妙で、終始 2 人は本会を愉快的な会に盛り上げ、また取り仕切っていただき有難く感謝です。

今回もまたここに集まった年の差 20 以上のメンバーが先輩、後輩の壁も感ぜず、お互いを真の友と思える不思議な 3 日間ではなかったでしょうか。

最後に田中俊夫先輩には、いつもながら盛りだくさんの企画から綿密な手配を一手にお引き受けいただき、また物心両面にわたる多大なご配慮を賜り心よりお礼申し上げます。

今回参加の方々を卒年順にご紹介します。(敬称略)

松本利幸 1965 年、川久保達也、佐橋罔男、柴田景尚、田中俊夫、内藤敏彦 1966 年、小田晋吾、藤田幹太、三浦雄三 1967 年、伊東誠、小林光、辰巳忠一郎 1968 年、鵜勝彦、近藤龍夫、山崎承一 1970 年、二島建夫 1971 年、梶原正壽 1973 年、浅野泰平 1977 年、西野顕久 1978 年、竹中一男 1979 年、進藤一英、徳岡樹 1983 年、田中秀樹 1988 年

尚、今回はご都合がつかず欠席された本会の常連メンバーを次の通りご紹介します。
金子勝美 1962 年、近藤正 1964 年、渡邊忠貴 1966 年、神田久敬 1967 年、近藤武熙 1968 年、大神正篤 1971 年、上田修三 1974 年、後藤仁克 1979 年、池田隆年 1980 年

「JSKS 関西遠征に来る」

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

今年度の同志社ラグビーH&T 定期戦は 6 月 29 日（日）素晴らしいコンディションの神戸製鋼コベルコスティラーズ人工芝グラウンドで行われました。JSKS は選手、マネージャー合わせ 32 名が参加、OB は星野孝友君 2010 年、杉田雄大君 2011 年、斉藤賢君 2014 年等若手を含む 16 名が応援に参集されました。東京からも上田修三さん、好川弘一さん、監督の佐藤優さんがそして名古屋からも小沢教昭さんが応援に駆け付けてくれました。

学生達は東京から神戸までの移動も何のそのキビキビ伸び伸びとした展開ラグビーで得点を重ね、45 対 7 で完勝し、関西 OB を楽しませてくれました。FW、BK 一体となり繋ぐべきは繋ぎ、時には強引に直進突破をはかるメリハリの利いたプレーは春シーズンを締めくくる意義ある試合になったと思います。誰もが我武者羅にゲインライン突破を試みる攻めの意識が強く感じられました。この戦法の成功をゲーム作りのひとつの良いイメージとして持てば良いかと思います。秋に強豪相手の一部リーグ上位を目指すには、夏合宿等で更に瞬間ダッシュ力やフィットネスの強化に取り組んでもらいたいものです。褒めてばかりですが、課題はやっぱりタックルが高い、そして待ちのタックルが多いことです。もう一歩早く、そして前に踏み出すタックルを！

試合後は近くのレストランで両校学生、OB 全員による交歓会が行われました。両校主将によるエール交換が行われた後、JSKS 山本主将から菅平の東西交流戦でまた対戦できることを楽しみにしたいとの話があり、H&T の主将からはその際には是非勝てる様に練習に励み、個々が JS に負けない力をつけたいとの言葉がありました。

JSKS・OB 代表としてこの日の心温まるおもてなしへの感謝とお礼、創部 50 周年に達した H&T の素晴らしいクラブ運営に対する敬意の念、学生のみならず社会人としても東西の良きライバルでありたいこと等を述べさせていただきました。

H&T・OB 藤原会長からは 50 年近く続く JSKS との交流を更に深め、切磋琢磨し、学生、OB とともに良きライバル関係を築いていきたい等の挨拶がありました。

交歓会を終えた学生は近くの銭湯で汗を流した後に、阪神御影駅前「焼き肉六甲」貸切りで学生、マネージャー全員が参加、OB あわせ定員オーバーの 44 名を詰め込んでの懇親会を挙行了しました。学生と焼肉の熱気が溢れる店内、皆のユニークな自己紹介を交えに笑いの絶えないあっという間の 2 時間でした。そして最後に神戸の夜空に全員で「塾歌」「若き血」を轟かせお開きとなりました。

いつも東京に居る学生が関西 OB とこれほど横一線に肩を寄せ合い、胸襟を開いてくれたことは記憶になく、お互いの距離が一挙に縮まったのではないのでしょうか。また来年、新しいメンバーを交えて会える日を楽しみにしています。

定期戦観戦及び交歓会に参加された OB の方々を記載いたします。（敬称略）

松田圭司、金子勝美、三浦雄三、辰巳忠一郎、鵜勝彦、上田修三、北井盛敬、小沢教昭、浅野泰平、徳岡樹、松岡肇、好川弘一、田中秀樹、佐藤優、星野孝友、杉田雄大、斉藤賢

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

「JSKS 関西ファミリーパーティー開催報告」

恒例の関西ファミリーパーティーは 11 月 18 日ホテル竹園芦屋で開催致しました。

秋の休日で諸行事と重なり少し寂しい人数でしたが、それでも東京から山崎理事長、腰椎の手術後間もない中をご参加いただいた曾我部令夫人、久しぶりにお会いできた本郷嘉朗ご夫妻、西田隆一さんご夫妻とお嬢ちゃんをはじめいつも通りご参加いただいた方々のお蔭で今年もアットホームな宴を継続するが出来ましたこと感謝しております。

山崎理事長より学生リーグ戦の近況報告があり、特に「先週のくるみ戦は学生が最後まで諦めず戦い抜き、逆転勝利を飾ってくれた。学生たちは今までにあれほど感動したことのない素晴らしいゲームを見せてくれた。まだ厳しい戦いは続くが、次も学生達を信じて、見守りたい。」と力強い言葉がありました。また部員数の減少による危機や練習場、試合会場の遠隔化に伴う学生に掛かる負担の増大等の克服すべき課題も関西の OB 達にも改めて見えるようになりました。

本郷嘉朗先輩からは学生の部員数減少等を大変心配され、皆で力強く応援していきましようとの挨拶があり、パーティーに過分な御寄付を頂きましたが、ご本人の同意、出席者全員の賛同を得、全額 OFA ファンドに入金させていただきました。

金子勝美先輩は故曾我部先輩から頂いた昔の JSKS ニュースの記載された冊子や学生時代の様子を綴った手紙など三点を持参され、JSKS の創生期の貴重な歴史を記すものとして山崎理事長に寄進されました。

上海帰りの田中秀樹一号さんも初参加ですが、「関西の人は柔和な言葉なので会話にもスムーズに入りやすく、とても住み易い」と、最若手の 2011 卒、渡邊薫さんからは「JSKS は OB になってからが本当の付き合いであると先輩方から教えられた。これからはずっとこのような会に参加したい。」などの嬉しい話がありました。また欠席の方々からも多くのコメントが寄せられ、特に北井盛敬さんからは「最近結成したオジサン・オバサンバンドのボーカルをやっている、急遽発表会のリハーサルがあり出席できなくなった。」との連絡がありました。

来年もこのパーティーを継続していきたいと考えていますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

OB からのおたより

こちらのコーナーでは、現役卒業後も活発に JSKS の仲間と交流を続けておられる OB の皆さんからの近況報告をご紹介します！

今回は、今年度卒業して丸 20 年を迎えられた 1994 年卒の皆さんの、20 周年記念同窓会の様子を投稿いただきました。

【緊急レポート】JSKS 卒業 20 周年記念同窓会

田中 慎一さん（1994 年卒）

「団塊ジュニア」「超就職氷河期」のど真ん中に位置するわれわれ 1994 年卒業組は、希望と淡い期待を胸に社会という大海原へ飛び出してから、早いもので今年で 20 年がたったんですね。2014 年という新年を迎えたのは 9 ヶ月も前の昔のこと。秋の気配を感じ始め、彼氏／彼女がいない独り身の若者が「今年のクリスマスはどうしよう？」などとソワソワし始める頃になったところで、同期のひとりがそんな事実によりやく気が付いたわけです。

「俺たち、今年で JS を卒業して 20 年になるよな。お世話になった神谷さん、二島さんもお呼びして、同期で集まって感謝の気持ちを伝えたいよね。」

何気なく発したこんな言葉から、小惑星探査機「はやぶさ 2」の打ち上げに匹敵すると言っては過言な一大プロジェクト「JSKS 卒業 20 周年記念同窓会」が始動したのです。この企画が事前に世間に漏れると大混乱を招くことは必至のため、実行委員会が秘密裏に立ち上げられ、「企画会議」という名の飲み会が、それも、何度やっても企画の中身が一向に詰まらない飲み会が、幾度となく開催されました。

そして、迎えた 11 月 29 日（土曜日）。遂に、その日はやってきました。会場は「神谷さんと二島さんにますます元気で頑張っていただきたい」という主将・小谷野君のなんとも粋な計らいで、バニーちゃんがお出迎えしてくれるエスカイヤクラブ。もっとも、われわれ同期には、サントリーに勤務する人間が小谷野君、藤森君、小川君の 3 人もいるということで、その実、同社の大口得意先をチョイスしたというなんとも我田引水な公私混同だったに過ぎません。

ジャケット着用というドレスコードにしたがい全員 17 時に集合。ジャケットを持っていないという司会の遠藤君は、直前にユニクロで買ったというジャケットに 100 円ショップのダイソーで入手したチーフを胸にまとい準備万端。17:30 に神谷さん、二島さん、それに二島さんの奥様をお迎えし、雅びで厳かな雰囲気の中で同窓会は始まりました。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

企画会議では「会場で流す動画をつくろう！」と張り切っていたものの、日経につれて徐々に面倒になっていき、結局、画像ファイルをペタペタ貼っただけのスライドショーに落ち着くという結末に相成ったわけですが、さすが「思い出」の力はすごいですね。全員で見入ると大いに盛り上がりました。20 年という月日がたっても神谷さん、二島さんがわれわれ 1 人ひとりのことを覚えていてくださるのがとても嬉しかったです。

スライドショーの後は、同期が順番に近況報告をスピーチしたわけですが、そこは司会の遠藤君。ただスピーチするだけ、そうは問屋が卸してくれません。制限時間は 2 分間。そして、制限時間内にきちんと収めたか、スピーチはおもしろかったか、によって「チーン」が鳴らされ、その回数分のビールを飲まされるのです。もとい。ありがたく頂戴致しました。

そんな調子で大盛会となった卒業 20 周年記念同窓会。JS でラグビーをプレーさせていただいたことのありがたさを感じるとともに、神谷さん、二島さんをはじめとする OB のみなさんとのご縁をこれからも大切にしていきたいと感じ入った次第です。そして、われわれ 1994 年卒業組は、2015 年の JS 祭で幹事を務める代となっています。この勢いのまま幹事を精一杯務め、おおいに盛り上げたいと考えております。

みなさんの参加とご協力をお願い致しまして、このレポートを締めくくりたいと思います。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

第 15 回 JS オープンゴルフ延期大会



杉崎 一雄さん (1969 年卒)

開催日の 2014 年 11 月 15 日は、紅葉が始まったコースで快晴、無風。6 月の大雨、大風で警報が出た天候とうって変わって、慶応ラグビー部 OB 福澤克雄君の制作した TBS ドラマ「半沢直樹」に出てくるような、「倍返し」「3 倍返し」の好天気。藤森先輩曰く「前回参加して、今回来なかった人はさぞ残念でしょう」

個人戦は、インスタートでいきなりチップインバーディを記録した元田君、アウトでは「弘法も筆の誤り」か、OB を打つこともありましたが、グロス 80 でぶっちぎりの優勝。2 位二島君、3 位は笹子君でした。今回から新しく始まった団体戦は、ハワイからわざわざ参加していただいた道野先輩が加わった、大島、道野、新田、井之上のチームが老獪、ベテラン、新鋭の魔力、総合力で優勝、2 位は伊東、山木、笹子、黒永組、3 位は杉崎、元田夫人、二島、川島組でした。

金沢から毎回和菓子をお願いしている村上先輩を始め、多くの方からの寄贈品の提供ありがとうございました。和気藹々のうちに表彰式を無事終えることができました。皆様に感謝しています。

バス組は途中で、「いいちこ」を買い、おつまみを買い、チキンを買い、楽しいプチ宴会をしながら東京に向かいました。途中で若手 OB から「来年はもっとたくさん連れてきますよ」との提案があり、神谷先輩から「どんどんたくさん連れてきてよ」ということで、コンペの更なる発展を期待することになりました。

なお、バス組の参加者については最低 15 名以上が必要で、今回は 10 名でしたので、次回は 5 名程度増やす必要があることを皆様念頭に置いていただけると幸いです。よろしくお願いします。

69 年幹事(山木、杉崎、長野、元田)



今年は 6 月 6 日(土)に開催予定です！

詳細は、皆さまに JS 祭のご案内と共に
お送りしております。

ぜひ奮って参加ください！！

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行

② プロモーションビデオの作成

昨年度同様、「JSKS とはどのようなクラブか」を知っていただくためにプロモーションビデオを作成しております。1 月中には完成し、HP にアップしておりますので、ぜひご覧ください。あわせて、新歓用のページを作成し、より JSKS というクラブの良さを知ってもらえるコンテンツを創出していきます。



③ SNS を活用した広報

Twitter や Facebook を活用し、現役の活動を随時発信していきます。

④ YCAC

3 月に横浜アスレチッククラブ主催の YCAC 高校セブンスの運営サポートを行います。出場校は関東、静岡、愛知などからの進学校であり、現役の高校生と交流が持てる点で有効なリクルート活動となります。東京地区の出場校に出向き、直接リクルート活動を行う事も検討しています。



しかし現役の力は限られており、是非とも JSKS の将来の為に、OB の皆様一人ひとりに切にご協力願いたいと思い、ご案内させていただきました。つきましては、OB の皆様には、出身高校や友人、親戚の高校生への広報活動のご協力をお願いいたします。慶應義塾大学に進学予定の高校生をご紹介お願いいたします。その高校生の名前、出身高校、携帯電話番号、メールアドレスを是非とも連絡頂くようお願いします。リクルートチームの学生が責任を持って連絡を取らせていただきます。

連絡先 リクルート窓口 磯崎宏太 アドレス : kota0922.261@gmail.com

ご協力、よろしく願いいたします！！



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2015 年 3 月 16 日発行